

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	森 和枝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画の進行管理と次期子ども総合計画(2020~2024年度)の策定を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。 ・「湖北台地区公共施設の整備方針」を踏まえ、「第三次我孫子市保育園等整備計画」を見直し、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりと2022年4月の湖北台保育園とわくわく広場の複合施設開設に向け、準備を進めます。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。また、今年度10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化に向け体制を整備します。 ・子ども相談課内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子ども相談員等の相談体制を強化します。それにより、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・次期子ども総合計画の策定に合わせ「放課後子ども総合プラン行動計画」の見直しを行い、学童保育室とあびっこクラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の利用環境整備や質の向上に努めます。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。 ・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。 				<ul style="list-style-type: none"> ・子ども子育て会議等を経て「第四次子ども総合計画」を策定し、また、放課後運営委員会を経て「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」の策定を完了した。 ・子育て世代への経済的支援事業を適切に実施した。また、子ども医療費助成の対象者拡大の検討や実施に向けて準備を行った。 ・第2小と新木小の学童保育室及びあびっこクラブの民営化への移行をスムーズに行なった。 ・元気フェスタや子どもまつり等子どもたちの参加事業を市民団体と協力して実施した。 ・少子化対策として、社会福祉協議会の結婚相談事業を支援した。 	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p> <p>また、各事業の評価や市民のニーズ調査等を基に、令和2年度からの「第四次我孫子市子ども総合計画」及び、その下位計画である「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」・「第三次保育園等整備計画(改訂版)」を作成したことにより、今後も引続き子どもの健やかな育ちと子育ての支援を総合的・計画的に進める準備を整えられた。</p>	



課コード	01	課名	子ども支援課	課長名	荒井 康哲
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>部の運営方針に基づき、次のとおり取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画を着実に推進します。また、32年度からの計画策定にあたり、現計画の検証及びニーズ調査を基に次期計画策定を進めます。 2. 母子・父子家庭への支援、子ども医療費の助成、児童手当及び児童扶養手当等の適正な支給に努めます。 3. 学童保育室とあびっこクラブの一体的な運営に努めます。 4. 提案型公共サービス民営化制度により、31年度から民営化となる二小及び新木小がスムーズに移行できるよう十分な引継ぎを行います。 5. 子どもの成長や自立を促進するため、手賀の丘宿泊事業を実施すると共に、青少年相談員連絡協議会と協働し、青少年キャンプ等を実施します。また、恒例となっているげんきフェスタ及び子どもまつりを市民団体と協力のうえ開催します。 6. 少子化対策として、我孫子市社会福祉協議会と連携して、結婚相談業務の充実を図ります。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 第4次子ども総合計画の策定を確実に実行した。 2. 子育て世代への経済的支援策として、令和2年8月実施の高校生等医療費助成制度を創設した。 3. 第2次放課後子ども総合プラン行動計画を策定し、児童の安全や安心な居場所として、学童保育室やあびっこクラブの運営を実施した。 4. 第2小や新木小の民営化では、民営事業者へ14名のスタッフ移籍があり、非常勤一般職員の配置が適正なものとなった。 5. 市民団体やボランティアと協力し、子どもの参加事業を実施した。 6. 少子化対策として、結婚相談事業を実施した。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育室及びあびっこクラブの運営が民営化となる小学校は、平成31年度は5校となる予定であり、非常勤一般職員の人員配置の調整が必要です。 					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価	
1 子どもの居場所づくり	重4	33104	全あびっこクラブ登録児童数/全小学校在籍児童数	%	63.9	60	58.9	98.17	現状	
2 げんきフェスタ	重4	33104	有料来場者数	人	489	800	489	61.13	現状	
3 あびこ子どもまつり	重4	33104	有料来場者数	人	708	1,000	708	70.8	現状	
4 子ども向け情報紙発行及びホームページの運営	重4	33104	情報紙「あびっこネット」の乳幼児及び小中学生のいる世帯への	%	85	90	95	105.56	現状	
5 手賀の丘宿泊事業	重4	33104	応募者数	%	58	70	58	82.86	現状	
6 青少年相談員事業への支援	重4	33104	楽しく有意義な体験ができた子どもの割合	%	98	100	98	98	現状	
7 児童扶養手当支給事業	重無	33105	適正支給した件数/総支給件数の割合	%	100	100	100	100	現状	
8 子ども医療費助成事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	拡充	
9 母子家庭等相談・自立支援事業	重無	33105	支援決定件数	件	5	11	13	118.18	現状	
10 ひとり親家庭の支援事業	重無	33105	適正支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	学童保育室の運営	重4	33103	登録児童数(910人)/定員数(1,035人)	%	88	90	83.6	92.89	現状
12	放課後対策事業心理相談	重4	33103	相談希望対応率(相談対応件数/スタッフや保護者からの相談件)	%	100	100	100	100	現状
13	子ども総合計画の策定及び計画の進行管理	重無	83102	子ども・子育て会議の開催回数	回	5	6	5	83.33	現状
14	ひとり親家庭等医療費助成事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状
15	学童保育室の整備	重4	33103	待機児童対策への施設整備。	保育	0	2	1	50	現状
16	未熟児養育医療	重無	33105	必要な医療給付者に対する給付率	%	100	100	100	100	現状
17	児童手当支給事業	重無	33105	適正に支給した件数/総支給件数	%	100	100	100	100	現状
18	我孫子市結婚相談事業の充実(少子化対策検討プロジェクト)	重4	33102	相談・お見合い件数	件	542	620	542	87.42	結合
19	未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金	重無	33105	申請に対して適切に支給した割合	%	0	100	100	100	その他

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	森 和枝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画の進行管理と次期子ども総合計画(2020~2024年度)の策定を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。 ・「湖北台地区公共施設の整備方針」を踏まえ、「第三次我孫子市保育園等整備計画」を見直し、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりと2022年4月の湖北台保育園とわくわく広場の複合施設開設に向け、準備を進めます。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。また、今年度10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化に向け体制を整備します。 ・子ども相談課内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子ども相談員等の相談体制を強化します。それにより、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・次期子ども総合計画の策定に合わせ「放課後子ども総合プラン行動計画」の見直しを行い、学童保育室とあびっこクラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の利用環境整備や質の向上に努めます。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。 ・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。 				<p>「第三次我孫子市保育園等整備計画」に基づき、教育・保育内容の向上と待機児童ゼロを堅持することができたとともに、令和2年度から令和6年度までの整備計画の見直しを実施し、今後の待機児童ゼロの堅持と令和4年度の湖北台保育園とわくわく広場の複合施設開設に向け、準備を進めることができた。また、幼児教育・保育の無償化では、保育園等と連携し、令和元年10月から滞りなくスタートすることができた。子育て支援では、子育て支援拠点施設を核とした活動の充実、多様な子育て支援事業の展開を心がけ、安心して快適に子育てできる環境づくりを推進することができた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p> <p>また、各事業の評価や市民のニーズ調査等を基に、令和2年度からの「第四次我孫子市子ども総合計画」及び、その下位計画である「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」・「第三次保育園等整備計画(改訂版)」を作成したことにより、今後も引続き子どもの健やかな育ちと子育ての支援を総合的・計画的に進める準備を整えられた。</p>	

課コード	03	課名	保育課	課長名	星 範之
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>1. 子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動(出前保育)等さまざまな子育て支援施策を充実します。</p> <p>2. 次期子ども総合計画の策定に合わせ「第三次我孫子市保育園等整備計画」の見直しを行い、必要に応じて質の高い保育・教育施設や地域型保育事業の設置など整備を進め、保育園の待機児童ゼロ施策を堅持します。</p> <p>3. 既存の保育園においては、児童が安全で安心して過ごせるように計画的に施設修繕・改修を進めます。また、湖北台保育園やわくわく広場については、湖北地区公共施設整備方針に基づき、他課と連携して整備を進めます。</p> <p>4. 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、利用の手続きの周知や事業の実施形態の変更など、利用者支援員の活用なども併せ滞りない事業運営に取り組めます。</p> <p>5. ファミリーサポートセンター事業運営及び病児病後児保育事業運営については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業運営になるよう努めます。</p> <p>6. 保育園の開設に伴う法人認可事務及び、地域型保育事業の認可事務並びに給付事務を適正に進めます。</p> <p>7. 保育園児童の健全な育成を図るため、保育士等の専門性の向上、研修の充実等、保育内容の向上に努めます。</p> <p>8. 幼稚園の預かり保育を充実し、幼稚園での就労・介護などによる保護者支援を促進します。</p> <p>9. 幼稚園児の安全な教育環境を確保するため、施設修繕の費用の一部を補助します。</p> <p>10. 幼稚園から認定こども園等に移行するため、意向のあった幼稚園に対し支援に努めます。</p> <p>11. 若者・子育て世代の定住化プロジェクトからの提案を受け、27年度から実施した子育てフリーマーケットは、他の子育て支援イベントに盛り込み、子育て世代の交流増進を図ります。</p> <p>12. 保育園及び幼稚園の放射能対策は、市の方針に基づき実施します。</p> <p>13. 今年度10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化に向け、保育園等と連携し滞りなく無償化を実施します。また、市民にも幼児教育・保育の無償化の周知に努めます。</p>				<p>・子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできるよう子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動(出前保育)等さまざまな子育て支援施策の充実が図れた。また、子育てフリーマーケットは「ママへのごほうびフェスタ」とタイアップし、実施することで子育て世代の交流が図れた。</p> <p>・第三次我孫子市保育園等整備計画に基づき、昭和61年度から継続している待機児童ゼロを34年間維持することができた。また、市立保育園においては、子ども達が安心して過ごせるよう計画的に施設修繕及び改修を実施した。さらに、平成6年度まで間も待機児童ゼロを堅持するため、現在の保育ニーズを踏まえ、第三次我孫子市保育園等整備計画の見直しを実施した。</p> <p>・湖北白ばら幼稚園が認定こども園に令和2年4月からスタートするための支援を実施した。</p> <p>・湖北台保育園やわくわく広場については、湖北地区公共施設整備方針を他課と連携し、令和4年度の開園を目指して整備を推進することとした。</p> <p>・ファミリーサポートセンター事業運営及び病児病後児保育事業については、より利用しやすい事業運営になるよう、委託事業者と連携を密にし、事業の推進に努めた。</p> <p>・保育士等の専門性の向上を図るため、市内公立私立合同研修会を実施し、保育の質の向上に努めた。</p> <p>・幼稚園の預かり保育が充実し、幼稚園での就労・介護などによる保護者支援や幼稚園児の安全な教育環境を確保するため、施設修繕費用の一部補助を実施した。</p> <p>・保育園及び幼稚園等の放射能対策は、市の方針に基づき、空間放射線量の測定、給食食材の放射性物質検査を実施し、子どもの安全・安心を確保したことで保護者の不安を解消した。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>保育需要は増大の一途であり、待機児童ゼロを継続することからも入園事務の複雑化は否めず、通常の就労時間を超えて対応せざるを得ない業務が常態化しています。また、新制度のスタートに伴い、事業計画の進行管理や保育・教育施設の拡充策、認可事務の多様化など業務量が増大しています。さらに今年度10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化により、正規職員の負担が益々増大することは明確であり、職員の増員が必要な状況です。</p>					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <p>保育需要の増大と待機児童ゼロを堅持するため、保育園計画の見直し、認定こども園移行に向けての認可・認定申請支援、保育園等指導監査、委託・補助金事務、幼保小連携など正規職員の責任のもと行う事務量が增大している。さらに令和成元年10月から幼児教育・保育の無償化がスタートしたこと、事務量が增大することとなった。また、子育て支援についても、多様な子育て支援策の充実が求められており、認定こども園や保育園、幼稚園、子育て支援拠点施設等と連携体制も必要になる。このように正規職員の負担が益々増大することは明確であり、課内の配置換えや国の補助金を活用しながら職員体制の検討が必要である。</p>	<p>(部長)</p> <p>待機児童ゼロを堅持するため、保育園等の整備に伴い、施設数の増大及び認定こども園への移行に向けての調整事務等が増大したため、事務の効率化や人員を含めた組織体制の在り方等検討が必要である。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 市立保育園の地域子育て事業	重4	33102	園庭開放・マイ保育園の利用者数	人	2,158	2,030	2,158	106.31	現状	
2 ファミリーサポートセンター事業の推進	重4	33102	提供・両方会員数	人	236	215	61	28.37	現状	
3 子育て支援拠点事業	重4	33102	利用者数	人	52,937	50,000	46,787	93.57	結合	
4 一時預かり事業	重4	33102	一時預かり保育利用希望者の利用率	人	100	100	100	100	現状	
5 世代間交流事業の促進	重4	33103	高齢者参加人数	人	485	490	213	43.47	現状	
6 市立保育園運営事業	重4	33103	保育を必要とする児童の入園率	%	100	100	100	100	現状	
7 幼稚園における子育て支援事業の実施	重4	33103	利用者数	人	43,395	43,500	37,803	86.9	現状	
8 産休・育休予約事業	重5	31103	入園予約児童数に対する入園実施割合	%	100	100	100	100	現状	
9 病児・病後児保育事業	重4	33103	利用者数	人	264	370	226	61.08	現状	
10 私立保育園・管外保育園への保育実施委託	重4	33103	保育を必要とする児童の申込に対する入園率	%	100	100	100	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重施 該当	施策 コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
11	私立保育園運営費補助金交付事業	重5	31103	保育を必要とする児童の申込に対する入園率	%	100	100	100	100	現状
12	障害児保育・統合保育事業	重5	31103	入園児童数	人	13	20	13	65	現状
13	私立幼稚園の運営支援	重4	33103	就園奨励費補助金および園児補助金の交付率（適正に交付した人	%	100	100	100	100	現状
14	子育て支援サービス利用者へのコーディネイトの推進	重4	33102	相談件数	件	1,137	1,140	940	82.46	現状
15	休日保育事業	重4	33103	実施率（実施件数／申込件数）	人	100	100	98.9	98.9	現状
16	enjoyパパ応援プロジェクト（出生～就学前）【子育て支援・若者	重4	33102	イベント実施回数	回	67	50	57	114	結合
17	保育園・幼稚園の放射能対策	重無	12201	基準値を超える園の放射線低減化対策実施率	%	100	100	100	100	現状
18	私立保育園等施設整備への補助	重4	33103	工事の進捗率	%	0	100	100	100	現状
19	湖北台保育園の再整備	重4	33103	測量業務の進捗率	%	0	100	100	100	現状
20	子育てサポーターの養成と地域活動の推進	重4	33102	子育て中の家庭を訪問し、子育て支援施設の情報紙等を配付した	件	45	60	20	33.33	現状
21	企業参加の子育て支援	重4	33102	市内のチーパス協賛店舗数	箇所	171	175	173	98.86	現状

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	17	部名	子ども部	部長名	森 和枝
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>●第三次基本計画の重点プロジェクト4「若い世代に選ばれるまちづくり」やまち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画の進行管理と次期子ども総合計画(2020~2024年度)の策定を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、地域の人々との連携を密にし、地域の子育て力の向上と多様な子育て支援事業を展開します。 ・「湖北台地区公共施設の整備方針」を踏まえ、「第三次我孫子市保育園等整備計画」を見直し、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりと2022年4月の湖北台保育園とわくわく広場の複合施設開設に向け、準備を進めます。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。また、今年度10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化に向け体制を整備します。 ・子ども相談課内に「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子ども相談員等の相談体制を強化します。それにより、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・「我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・次期子ども総合計画の策定に合わせ「放課後子ども総合プラン行動計画」の見直しを行い、学童保育室とあびっこクラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。 ・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目のない支援を推進していきます。 				<p>発達に支援が必要な子どもが増加する中、こども発達センターを中心に関係機関と連携し、対象となる子どもとその家族に対して、質の高い専門的な発達支援を実施している。また、すべての子どもが安心して地域で健やかに成長できるように、地域支援の充実と機能強化を図れたと評価する。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>部の運営方針に基づき、3課が、各事業の適正な実施及び充実に遅延なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価する。</p> <p>また、各事業の評価や市民のニーズ調査等を基に、令和2年度からの「第四次我孫子市子ども総合計画」及び、その下位計画である「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」・「第三次保育園等整備計画(改訂版)」を作成したことにより、今後も引続き子どもの健やかな育ちと子育ての支援を総合的・計画的に進める準備を整えられた。</p>	



課コード	06	課名	こども発達センター	課長名	三澤 由紀子
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>○障害が確定されている子どもや発達に支援が必要な子どもが、健やかに成長するためには、早期からの療育的支援が必要不可欠となっています。そのため関係する機関と連携し、1歳6ヵ月児健診、3歳児健診、5歳児健診、就学時健診及び子育て相談を実施することで早期発見に努め、個々のニーズに合わせた支援計画に基づき適切な療育支援を実施していきます。</p> <p>○発達に支援が必要な子どもとその家族に対して、早期支援、家族支援、発達支援、地域支援の充実を図ります。</p> <p>○我孫子市子ども発達支援計画に基づき、発達に支援が必要な子どもとその家族が健やかで安定した生活が地域で送れるよう、地域支援を軸に教育施策とも連携し、ライフステージに応じた一貫した支援体制を療育・教育システム連絡会で構築します。</p> <p>○発達支援の専門性を活かして施設への訪問指導、研修会等を行い、地域の幼稚園及び保育園職員や民間事業所等職員のスキルアップを目指します。</p> <p>○ライフダイアリーを、多くの家庭で活用してもらうことができるように普及・啓発活動を行います。</p>				<p>「<改訂版>我孫子市子ども発達支援計画(第1期障害児福祉計画)」に基づき、こども発達センターを中心に、子どもとその家族に対して、児童発達支援、保育所等訪問支援、家族支援等の直接的支援を行った。また、児童発達支援センターの大きな役割である地域支援において、保育園、幼稚園、こども園、児童通所事業所等に対して、専門的支援のノウハウの提供、支援方法の共有といった間接的支援も行うなど、支援の充実を図れた。また、保育、保健医療、教育、就労支援等の関係機関と連携した支援体制の構築を「療育・教育システム連絡会」で推進している。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>○発達に支援が必要な子どもの家族背景が複雑になっている家庭が増加しています。DVや保護者自身の虐待歴、保護者の精神疾患等、療育の前に養育ができるよう支援をしなければなりません。来所されている家族の状況を把握、分析し、どこの事業に重きを置かかを考え、人員配置をする必要があります。また、子ども相談課や教育研究所との組織の在り方も検討しながら事業をすすめます。</p>					



4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <p>出生数が減少する中、発達センターの利用ニーズは今後も高まっていくと予測される。そのため、地域で安心して暮らせるための地域支援と、保護者に対しての家族支援の充実が必要であると考えられる。また、ライフステージに応じた一貫した支援の構築を目指して、療育・教育システム連絡会でシステムの構築・推進を継続していく必要がある。</p>	<p>(部長)</p> <p>こども発達センターの機能強化、支援の質の向上と、発達に支援が必要な子どもが、ライフステージで一貫した支援を受けることができるように、療育・教育システムの構築を図ることが必要である。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 発達支援に関する専門職員の派遣	重4	33106	相談実施件数	件	379	400	424	106	現状
2 児童発達支援事業所「ひまわり園」による発達支援	重4	33106	出席率	%	76	80	82	102.5	現状
3 言語聴覚士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
4 理学療法士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
5 保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
6 ケースワーカーによる相談・調整	重4	33106	こども発達センター利用者数	人	816	858	762	88.81	現状
7 心理相談員による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
8 療育・教育システムの構築	重4	33106	会議の開催回数	回	3	3	3	100	現状
9 作業療法士による相談・訓練	重4	33106	実施率	%	100	100	100	100	現状
10 ライフダイアリー普及事業	重4	33106	ライフダイアリーの配布数	人	1,115	1,150	827	71.91	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価	
11	重4	33106	施設の維持管理、運営。	%	100	100	100	100	現状	
12	重4	33106	児童支援利用計画の作成数。	件	423	580	476	82.07	現状	
13	重4	33106	年間利用者数	人	168	260	89	34.23	現状	
14	重4	33106	支援率	%	100	100	100	100	現状	